

「社会貢献活動年間報告書 AJOSC's 2018」の発行にあたって

全日本社会貢献団体機構がスタートして14年目、「AJOSC's 2018社会貢献活動年間報告書」をお届けします。この報告書は、2018年1月から12月までの一年間に当機構と会員の皆さんが実施した社会貢献活動とをとりまとめたものです。

この報告書が発行される7月18日には、報告書の中で紹介されている社会貢献活動への表彰式と2019年度に社会貢献事業を行っていただく当機構の助成団体に助成金をお渡しする式典が行われます。

2018年を振り返ると自然災害の多い年でした。7月の西日本豪雨、9月の大型台風襲来により関西空港の全面閉鎖、北海道胆振東部地震で震度7を記録し道内では国内初のブラックアウトが起きました。2018年はその年の世相を漢字一文字で表す漢字が「災」となるほどでした。一方、明るい話題は、平昌五輪で日本は最多メダルを獲得、テニスの全米オープン女子シングルスで大坂なおみ選手が優勝、ノーベル生理学・医学賞を本庶佑京都大特別教授が受賞しました。

「AJOSC's 2018社会貢献活動年間報告書」は、「今こそ、地域貢献」をテーマとして編集しま

した。遊技業界では、以前から阪神淡路大震災・東日本大震災・熊本地震・九州北部豪雨など、自然災害によって被害を受けた地域の復旧・復興を含め、被災者を支援するために義援金の寄付やボランティアを中心とした活動を行ってきました。自然災害が多発している時だからこそ、遊技業界は地域とともに歩む業界として、より一層地域貢献に取り組んできました。本報告書は被災地の復旧・復興を支援するため、会員である都府県方面組合、支部組合、組合員ホールの皆さんが継続して一丸となって取り組んだ活動内容を紹介しています。

近年、遊技業界には様々な課題が発生し経営的に厳しい状況にありますが、地域の課題を地域で解決し、社会貢献活動やボランティア活動に精力的に取り組む、地域に根ざした企業として社会にその存在感を高めています。

この報告書は、機構の会員をはじめ、全国の図書館、自治体、警察、経済界など各方面にお送りしています。当機構や業界の社会貢献活動への理解を深めていただく一助になればと願っています。

2019年7月吉日
全日本社会貢献団体機構
事務局長 毛利秀美

AJOSC (All Japan Organization of Social Contribution の略称です)

社会貢献活動年間報告書 2018

■発行日:2019年7月31日

■編集・発行:全日本社会貢献団体機構

〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町16市ヶ谷見附ハイム103

<http://www.ajosc.org>

■編集協力:株式会社 計画制作社

■印刷:株式会社 デイリースポーツ